

- 高崎市から借用している浦安市民水源の森は、新型コロナの流行以降、利用者が減少していることが課題となっている。
- このため、高崎市の烏川流域森林組合と締結した協定に基づき、森林環境譲与税を活用して浦安市民水源の森の整備を実施した。

□ 事業内容

- ・高崎市から借用して設置した浦安市民水源の森の環境整備を、森林環境譲与税で実施。

【事業費】5,000千円（全額譲与税）

【実績】令和5年度

歩道拡幅 630m

木製階段設置 124m

ベンチ設置 15基

看板設置 7基

□ 取組の背景

- ・平成18年から高崎市倉渕町の水源林を借用し、浦安市民水源の森を設置。
- ・下草刈りを除き、ほぼ自然のままにしていたが、休憩施設が無いなどに併せ、新型コロナの流行もあり、利用者数が減少していた。
- ・高崎市市有林「浦安市民水源の森」活用に関する基本協定書を令和5年8月31日に締結。



(木製看板)



(木製ベンチ)



(木製階段)

□ 工夫・留意した点

- ・浦安市民水源の森周辺の森林経営管理は、高崎市が烏川流域森林組合へ委託していたので、本市の事業実施にあたって、烏川流域森林組合へ委託したいと考えていた。
- ・烏川流域森林組合と直接委託契約を締結することが難しく、検討した結果、協定を締結することとした。
- ・協定とすることで、委託料から負担金での支出を可能とした。

□ 取組の効果

- ・土砂崩れにより歩道幅員の狭い箇所があったが、幅員を確保することができた。
- ・歩道部斜面は登り難い状況であったが、木製階段を設置することで、歩きやすくすることができた。
- ・休憩場所が無い状況であったが、木製ベンチを設置することで、休憩場所を確保できた。
- ・木製案内看板を設置することで、方向の確認を容易にすることができた。
- ・整備後に本市広報紙へ掲載したところ、問合せが増加し、今後の利用者増が期待できる。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：17,924千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：171,362人	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より